

① 概要

高野・熊野地域通訳案内士の更なる活動を推進するため、より優れた通訳能力をもった者を「Maestro(マエストロ)級」として認定する。

② 制度の目的

年々高まる富裕層や高度なインバウンドに対し、最高峰のガイド品質をブランド化して提示することで、旅行者にとって満足度の高い文化体験を選択できる環境を整備します。一方、一人ひとりが組織や団体に依存せず、自立して活躍できる市場を確立するとともに、現役ガイドの活動意欲を刺激し、地域全体の通訳案内スキルの底上げを図ります。

③ 認定までの流れ

2カ年計画でのMaestro級認定制度を構築する。

1年目

- ・対象はアドバンス参加者のうち認定希望者（通常参加者と同様の研修）
- ・スキルアップ研修（模擬ガイドツアー）への参加
- ・評価表（県作成）によるガイド能力等の評価（評価表有効期限は1年）
※評価基準（S,A,B,C）のうち、1つでもCの項目があれば、その時点で2年目の試験資格を付与しない「足切り」を適用。（評価項目は10項目）
- ・定員は20名。（受験資格は設けない。）

【認定希望後】令和8年9月1日以降、認定希望者は月1回以上の稼働状況(ガイド活動だけでなく、SNSによる世界遺産PRや環境保全トレッキング等の参加も含む)を報告書(県作成)により報告すること。

〈事務局の役割〉

- ・認定希望者の受付及び追加事務手数料（2,000円想定）の徴収。
- ・評価結果の管理。

2年目

- ・ 認定試験申込時までに以下の受験資格（令和4年4月1日以降受験のもの）を満たすこと
 - 【英語】TOEIC L&R900点以上、英検1級、IELTS6.5以上、TOEFL IBT
スコア5以上のいずれかを取得
 - 【中国語】中国語検定準1級以上、HSK6級
 - 【フランス語】DELF B2、実用フランス語技能検定試験準1級以上
 - 【スペイン語】DELE B2、スペイン語技能検定2級以上
- ・ 認定試験の受験（実地試験+筆記試験）
- ・ 試験結果+1年目評価+毎月の稼働状況による合否判定により、Maestro級案内士（1期）としての登録を行う。

④ 認定後について

【特典】

- ・ 授与式にて県公式行事として「Maestro」表記の資格証を授与。
- ・ 公式HP等での重点紹介により優先的な集客支援やPR。
- ・ 次年度以降の育成研修や、県主催のイベントにおいて、講師として謝礼を支払って招聘。（和歌山県世界遺産マスター更新研修会など）
- ・ 全国規模の関連大会開催時に県代表ガイドとして推薦。等

【義務】

- ・ 毎月の稼働状況を事務局へ報告。
- ・ 後進の育成や、重要案件への優先的な協力。

⑤ 更新・失効要件

Maestro級の品質維持と活動意欲向上を図るため、3年ごとに以下の要件を満たした者のみ更新を認め、満たさない場合は称号を失効（通常級へ降格）とする。

1. **実務実績**：過去3年間で一定日数（例：年間10日以上）の従事。
2. **知識更新**：3年に1度実施される「Maestro級更新研修（仮）」への参加。